

教時新報

教会会議として議論し、決定する。

常議員会2日目の午前中、多くの時間を割いて、「宣教基礎理論の改定に関する件」が扱われた。既に、各教区に第一次草案が配布され、教区の意見をまとめることが要請されていたが、書面で応答があつた教区の報告が資料として配布された。

冒頭、石橋秀雄議長は、宣教基礎理論を、今後、議案として諮ることになつており、今回は草案に対する意見を求めたいと告げた。

各教区議長からの報告を聞くべきとの意見があり、各教区議長が報告した。多

この教区において、充分な審議をする時間が取れておらず、教区としての意見をまとめるまでに至っていない状況であった。いくつかの教区からは、意見が明瞭に述べられた。

「常置委員会では、この方向で教団がまとまっていくよう願っている」、「反対する理由はない」と言った肯定的な意見が出された。一方では、「改定にあたって」に記されている「現行宣教基礎理論に対する否定的な評価を首肯できない」、「水平、垂直という二元論的発想が妥当であるのか」、「草

案の中の宣教の方法、目標を共有することは出来ない」といった意見も出された。また、「時間をかけて、広く検討して行くことが必要」、「分かりやすい言葉で表現してほしい」との意見もあった。以上を受け、常議員を中心意見が交換されたが、常議員からは、概ね賛成の意見が述べられた。

総論的なこととしては、「伝道を全面に打ち出していくことに賛成するが、宣教委員会のもとに、伝道、教育、社会という各専門委

員会を置いている教団の機構との関連を明確にして行くべき」「80年代にあつた社会活動基本方針の再検討の流れについての評価を盛り込むべき」、「現宗教基礎理論は、機構改正とリンクしたものであり、構造的に行き詰ったという点を記すべき」といった指摘があつた。また、改定の必然性を丁寧に説明し、多くの同意を得られるようて表記すべきとの意見があつた。

各論のこととしては、

「宣教の対象を、異教國本という形で捉え、私たちと全く異質という感じを括

第38総会期

第4回常議員会

1 **2** **3** **4** **5** **6** **7**

貴邊の「宣教の影響が及ぶる」、第五回常議員会が開催されたが、宣教の研究問題取扱いについての議長諮詢への答申、負担金新算定方式、事務局一時移転など重要事項を総会より今期常議員会に付託となつた原発関連、軍事基地撤去について決定した

教育委員会が審議した。また、38教科書

内量低 沈綱 2192 日

向で進んでおり、3月2日
の会館管理組合総会で何らかの
方向が決定される見通し。
（文部省）

す。
教団総幹事
長崎哲夫

が続いた
召されたのは9歳を間近にした姉妹、10歳を迎えた姉妹だった。お

「教區負擔金配賦額」新算定方式可決

会館問題特別委員会報告
で鈴木功男書記は、「会館¹⁹」
団体のオーナー会議では、
耐震補強工事自論見書⁵(億)

お知らせ
「教団新報」は、今号

この冬、仕
えていた教會
としては比較
的大きい10

宣教基礎理論取り扱いのため委員会設置

1000万ドルの献金を得て、海外3億7000万円（1月31日現在）に達した。05年のJNAC（日・北美宣教協力会）解散以来関係が希薄になっていた北美諸教派との対話のため、協議会の復活や青年の交流などを続けていこうとしている。

また、教師試験合格者で召募が無く、日壬牧師とよ

予算決算報告で愛澤豊重
委員長は、負担金配賦額の
新算定方式提案を行った。
現行方式は、「経常収支差額
を基準として現住会員数比
率などから算出し、年度に
よるばらつきを対前年度3
%調整により調整」していく
が、「変動は(ばばばばばばば
ー)会に諮問したが「望ましく
ない」との答申を得た」と
報告した。

新算定方式は、教規15条に基づき、「歳出経常費総額を基準とし、教区格差を正のため、1教会当たりの会員数比、1人当たり経常支出負担額比により調整をえた」。新方式により、現行より増額8教区、減額9教区。教区平均1532万円を上回る教区6、下回

区としては、諸教会を説得する時間が欲しい「ようやく教規に基づいた算定方式となつた」と議論が続いたが、愛澤委員長は、「3%調整は、激変緩和措置と言われていたが、機能しなかつた。経常収支差額を基準とするより、経常支出基準の方があげきな変動が生まれ難い」と理解を求めた。議論は2日目に再開する。

長崎総幹事は、「職員は事務局20、出版局35、年金局などの教団職員に、東京教区、在日大韓などを加え、人に上る」と補足説明した。3月11日から4日間開催される東日本大震災国際会議について、伊藤瑞男委員長は、「アジア、欧州、北米、アフリカの1カ国か

事務局の予算だが、UMCOPから400万円、指定金、特別献金などを用い、大震災募金からは充当したい」と報告し、承認を得た。幹事任用では、道家紀幹事を4月1日付で総務事に任用（任期終了18月末）、大三島義孝幹事、加藤誠幹事を再任（任期年）。（也1名の幹事）

万 献 な 一 幹 3 、 1 、

これまで葬儀で語ってきた式辞を思い返してみると、その兄弟、姉妹の人生のどこに、牧師として注目してきたかが分かる。兄弟、姉妹がいつキリストに捕われていることに気づかされたのか、信仰を告白し洗礼を受け、どのように教會につな

れだけの出席があったことに教えられた。生前、良い証をしたことの現れだった。▼

教師養成制度の検討に関する答申提出

岡本常議員が教師制度答申について説明

における神学教育の歴史的経緯を踏まえた上で、現行の教師養成制度を批判的に検討し、教団の将来を担うる教師養成のあり方にについて「提言されたい」について、13回の会議を開催し、検討を行ってきた。

第37回総会期第3回常議員会（2011年7月4日～5日）で「日本基督教団教師養成制度の検討に関する件」が承認された。教師養成制度検討会議はこれに基づく諮問「日本基督教団に

成制度の検討に関する答申提出

て、教団におけるその変遷を確認すると共に、神学教育の現状を制度と内容の面から検討し、教団が求められる神学教育の内容を提示した（第2章）。更に教師論

定制度の在り方について検討し、現行検定制度する豊かさについて、召命と自覺と正規の手の観点からその意義と共に、制度と実務の

て検討をし
せて頂く。
本答申が

た内容を答申さ
教団における教
実に活用される
したい」という
。

と述べた。
これを受けて芳賀力東
子大学長は「持ち帰
模討する。何をもつて」
立とするか。東京神学

現在、他教派から教師になるには教団の地位を3年転籍しなければならない。3年編入の留学生は、教師への決断からさうである。

定について意見が出た。岡本座長は「改定、削除の議論に至っていない」、その後教師養成制度会議答申が受理され

が、
隙のと述度検た。報

答申に意見を述べる

から、整備すべき課題について検討を加えた（第3章）。教師の生涯教育やメンタルケアの充実など、検討すべき課題は他にもあると思われるが、教師養成制度の検討を始めたところに教員論はたたないところに教師論はたたない。教団と認可神学校と教団立神学校との関係の要性である。

立 重 ベ 立 申 の合同、諸教派の持
た神学校が合同して、
答申をふまえながら、
師たちが心しなけれ
ないことは、教団の教
養成すること、教団

でに3年足りないため
伝道者となってしまう
籍2年でも東京神学大
学はならず
年間在外を加味して、
推薦できるよう要望す
と語った。
「二、「又行きま
る事」の如き、



答申に意見を述べる芳賀東京神学大学学長

(3)

2014年3月15日

教 团 新 報

(第三種郵便物認可)

第4793・94号



教団全体の財務を検討

B会議室において行われた
第38総会期第4回予算決
算委員会が1月30日に教団
題の現状について検討資料

冒頭、総幹事より会館問
題の現状について検討資料

1. 2013年度第一次補
正予算に関する件

2. 負担金算定に関する件

3. 全国財務委員長会議、また
第3回常議員会での意見か

一部の委員会において予
算の枠を越えた支出が見ら
れるため、予算主義の原則
を再確認することを担当幹
事に求めると共に、支出超
過となつた原因を調べて当
委員会に報告してもらうこ
ととした。

以上を踏まえ上で、補
正予算を承認した。

正予算と合わせて当
委員会に報告してもらうこ
ととした。

教規では
各教区の収入と支出の
差に基づいて算定する方法
をとってきたが、教規では

教団総会予算縮小について議論

▼予算決算委員会▲

第131回 神奈川教区総会

第131回神奈川教区総会は、2月22日、清水ヶ丘教会で正議員235名中、160名出席で開催された。2名の准允と2名の按手礼が執行された。なお、執行前には志願者の所信表明がなされた。

今総会で最も活発に議論されたのは、次年度教区活動方針関連であった。教区宣教の項目冒頭に「教区を挙げてイエス・キリストの福音を伝道することに全力を注ぐ」を付加する修正案も一括上程されたが、議場

修正動議が提出された。

修正動議が提出された。これ以降も議論は続き、「原案において、伝道は自明であり、大前提であるので、敢えて挿入する必要はない」、「私たちが信頼するのは、福音の力である。神が与える福音の基盤に立つて全力を注いでいきたい」、「修正

58名で否決。修正案も61名で否決。原案が89名の賛成を打ち切った。古谷正仁副議長は「改正動基本方策案の前文に置く修正動議が提出された。この修正動議は、154名中58名で否決。修正案も61名で否決。原案が89名の賛成を打ち切った。古谷正仁副議長は「改正動基本方策案の前文に置く修正動議が提出された。この

修正動議は、154名中58名で否決。修正案も61名で否決。原案が89名の賛成を打ち切った。古谷正仁副議長は「改正動基本方策案の前文に置く修正動議が提出された。この

教区活動方針について議論、原案を可決



正教師となる者たちに手を按く

共に祈り、支えよう！

Let us pray for and support people and the Church together!

「東日本大震災救援募金のお願い」

振替番号 00110-6-639331
加入者名 日本基督教団東日本大震
災救援募金

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31

2月27日現在 募金総額

国内募金総額 6億7096万4511円

海外からの献金総額 3億7006万3429円



福士卓司氏（隠退教師）



原田譲治氏（無任所教師）



菅原一夫氏（隠退教師）

菅原一夫氏（隠退教師）

妻・原田裕子さん

原田裕子さん

妻・原田裕子さん

兵庫県に生まれる。67年日

14年1月17日逝去、70歳。

本伝道隊関西聖書神学校

14年1月29日逝去、70歳。

宮城県に生まれる。67年東

京神学大学卒業。73年名古

屋教会に赴任、有田教会、

香椎教会、フィリピン合同

教会を経て11年まで出水・

水俣伝道所を牧会し隠退し

た。遺族は、妻・菅原マグ

ダレーナさん。

